

ニュース城里

「元気に帰ってきてね」 岩船小学校 サケの稚魚放流



岩船小学校（塩澤和子校長）の全校生徒65人によるサケの稚魚の放流が、2月24日、学校のそばを流れる桂川で行われました。この行事は9年前から毎年実施。稚魚は、昨年12月に那珂川漁協から受精卵を譲り受け、5年生の児童が中心になり、自宅や学校の水槽でふ化させ大切に飼育してきました。

当日、参加した孫根長生会の方や先生たちが見守るなか、体長約4～5cmに成長したサケの稚魚、約2000匹を放流。児童たちが、川の流れに向けてそっと放してやると、稚魚は元気よく泳いでいきました。

子どもたちは、「元気でね」「たくさんえさを食べて大きく育って欲しい」「大きくなってまた、桂川に帰ってきてね」などと、無事に成長して戻ってくることを願いながら、稚魚の姿を見送りました。

春まつり

芸能大会

第24回春まつり芸能大会が旧常北町文化協会（矢次巖会長）芸能部の主催のもと、3月13日にコミュニティセンター城里ホールで開催されました。文化協会に所属する団体35組が参加し、大正琴、民謡、舞踊、歌謡、詩舞、フラダンス、和太鼓など各種演目を披露。素晴らしい発表に、観客約150人の大きな拍手がおくられました。

また、この芸能大会では、チャリティー募金が行われました。集められた募金2万3,028円は、後日、常北町社会福祉協議会に寄付されました。



城北ライオンズクラブ

ゴミ箱を寄贈

城北ライオンズクラブ（根本一雄会長）が、3月23日、ゴミ箱3個を町に寄贈してくださいました。早速、ゴミ箱はコミュニティセンター城里の広場に設置されました。



自分で出したゴミや空き缶をきちんとゴミ箱に捨てることはもちろん、ゴミを見つけたら拾ってこのゴミ箱へ捨ててください。みなさん、コミセン広場の美化にご協力ください。

人権擁護委員に

磯部長司さん、飯田紀代子さん

人権擁護委員制度は、国民の基本的人権を擁護し、その普及を図る目的で昭和23年に発足しました。

ました。



磯部長司さん



飯田紀代子さん

この人権擁護委員に、磯部長司さん（下古内）と飯田紀代子さん（石塚）の二人が再任され、4月1日付けをもって法務大臣から委嘱されました。委員の任期は3年です。